

## 図書紹介『としま F1 会議——「消滅可能性都市」270 日の挑戦』

(萩原なつ子編、生産性出版、2016)

萩原 なつ子 (立教大学 21 世紀社会デザイン研究科・教授)

平成 26 年 5 月に、日本創成会議より、23 区で唯一「消滅可能性都市」との指摘を受けた豊島区。区は緊急対策本部を設置し、「女性にやさしいまちづくり」をめざし、20 代から 30 代の区内女性を中心に構成された「としま F1 会議」を立ち上げた。会議設置の提案が出されたのは女性管理職からだった。

F1 とは、広告・放送業界のマーケティング用語で、20 代から 34 歳までの女性を指す。当事者である F1 女性を中心とした 32 名の委員による調査、研究をもとに提案された事業の中から、11 事業に 8800 万円の予算が 27 年度に計上された。「豊島区政史上、始めて以来の画期的な出来事」とは、高野区長の談。

本書は「としま F1 会議」設置までのプロセス、「としま F1 会議」のキックオフイベントとして実施された「としま 100 人女子会」、会議でのチーム編成からプラン発表、提案事業の予算化など、提案が区政にいかん反映されたかなどについて、F1 会議の委員、オブザーバー参加した行政職員、そして筆者それぞれの立場から書かれている。女性の視点から住み続けたいまちづくり、誰にとっても優しいまちづくりを考え抜いた「豊島区を消滅させない！」という「としま F1 会議」メンバーの熱い思いを感じ取っていただきたい。